

2020 年度
事 業 計 画

公益社団法人 全国競輪施行者協議会

事 業 方 針

2019年4月から本年1月の車券売上高は、前年同期比104.2%と、2014年度から6年連続で前年度を上回っている。

しかしながら、Gグレード開催では依然として売上の減少が続く厳しい状況となっている。

このような中、2020年度は中期計画に基づく取組みを着実に推進するとともに、様々な競輪活性化策を実施し、2021年度に売上7,000億円、施行者収支190億円を達成するよう努める。

このため、売上の向上はもとより、収益の向上を図り、施行者が一般会計への十分な繰出しができるよう、次の事項について積極的に取り組んでいくこととする。

- ◆ 20歳代から40歳代の若い世代をターゲットとして、さらなる競輪の魅力を発信し、同世代が日常的に利用するインターネット上において興味を感じる広報施策を展開することで、新規顧客の取込みを図る。
- ◆ お客様それぞれのライフスタイルに合わせた開催（モーニング競輪やナイター競輪、ミッドナイト競輪など）により新規顧客の獲得を図るとともに、既存顧客の車券購入機会の拡大に努める。
- ◆ 開催枠組み全体の見直しを検討するとともに、概定番組の見直しや活性化策を検討し、顧客満足度の向上を図る。
- ◆ 場外発売契約の事務委託方式への移行による契約事務の簡素化により、併用発売の拡大を推進し、売上・収益の増加を図る。
- ◆ 「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」に基づく施策を検討・実施し、ギャンブル等依存症対策の取組みを推進する。